

2023年3月期中間期 株主通信

富士ダイス通信

2022年4月1日 ▶ 2022年9月30日

当社WEBサイトのご案内

最新の投資家情報や詳しい情報は当社のWEBサイトにて紹介しております。ぜひご覧ください。

富士ダイス 検索

<https://www.fujidie.co.jp/>



FUJILLOY

証券コード：6167(東証プライム市場)

中間期の連結業績 (2022年4月1日～2022年9月30日)

売上高 **8,367** 百万円 経常利益 **661** 百万円
営業利益 **578** 百万円 親会社株主に帰属する
四半期純利益 **454** 百万円

堅固な財務基盤に加え、潤沢な手元資金

●純資産 195億円
●自己資本比率 77.2%
●ネットキャッシュ 66億円

期末配当
22円

【配当方針】利益の状況、将来の事業展開等を総合的に判断し、適切な利益配分を行うことを基本方針としております。今後は、財政状態及び経営成績を勘案した上で、安定した配当を継続していく予定です。

中期経営計画／フェーズ2(2026年度)

売上高 **200** 億円 営業利益 **25** 億円

富士ダイスの強み

1. 超硬耐摩耗工具メーカー

●世界最高水準の技術と技能による一貫生産体制

設計 → 原料粉末の調製 → 焼結 → 加工 → 製品検査

●お客様のニーズに最適な超硬合金製品を提供
●超硬耐摩耗工具業界の国内トップシェアを堅持

当社製品



製缶工具

最終製品例



飲料缶



一般食缶



光学素子成形用金型



スマートフォンレンズ



カメラレンズ



監視カメラ

2. 競争力の源泉となる3つの力

直接販売による営業力

●全国をカバーする直販体制
●幅広い業種の顧客を確保

高度な粉末冶金技術による素材開発力

●技術営業による高い課題発見力
●豊富な素材開発実績

高い生産技術力

●熟練した技能者集団
●最新鋭の加工・検査設備

3. 新成長エンジンの創出

粉末冶金技術を活かし、市場ニーズに応える新材料の開発を進めていきます。

粉末冶金技術

粉末冶金技術を活かした市場ニーズに応える新材料の開発

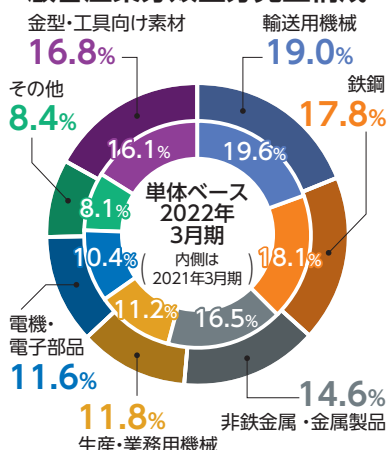
超精密加工技術

磨き上げた技能と新鋭設備を用いた最適な加工方法の融合

4. 幅広い産業分野に貢献

様々な産業分野でものづくりを支える当社製品。顧客の多様さと潤沢な手元資金で、コロナ禍や不況にも高い耐性を有しています。

顧客産業分類区分売上構成



自己資本比率

76.1%

(2022年3月期末)

ごあいさつ

筋肉質な企業体質への転換と、 中長期の成長基盤構築で、さらなる高みへ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

2022年度中間期(2022年4月1日から2022年9月30日まで)の事業の概況をご報告いたします。

当社グループは、中期経営計画(2022年3月期から2024年3月期)の2年目となる2022年度(2023年3月期)について、「革新」を年度方針に掲げ、新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めるとともに、成長戦略である①生産性向上・業務効率化、②次世代自動車への対応・拡販、③新成長エンジンの創出、④海外事業の強化の諸施策に取り組んでまいりました。

生産性向上・業務効率化については、昨年度実施したモデル工場における生産効率改善活動を国内全生産拠点へ展開する活動を前倒しで開始し、また次世代自動車への対応・拡販の一環として、モーターコア金型向け新素材の開発、電池関連製品専用生産ラインの設置といった諸施策についても積極的に推し進めております。

当社グループの活動状況につきましては、さらなるご理解をいただけるように透明性、公平性、継続性を基本として積極的な情報開示をしてまいります。

今後とも、一層のご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2022年12月

代表取締役社長 久保井 恒之



E

Environment
環境

ESGの取り組み

フジロイ タイランド Fujilloy Thailand CSR-DIW受賞

2022年8月22日、タイ工業省工業局主催のCSR-DIW賞授賞式が行われ、グループの一員であるフジロイタイランドが受賞しました。

この賞は、社会・環境の持続可能性に配慮した活動を行っている企業に贈られるもので、フジロイタイランドが行っている緑化活動やボランティア活動、低所得者層への就労支援プロジェクト等が評価されました。



授賞式の様子

左がフジロイタイランド社長の輪竹暢久氏

工業団地主催の緑化活動

植林作業を行うフジロイタイランドのメンバー

JIMTOF2022

FUJILLOYで
モノづくりを変える。

Change the
MONOZUKURI
with Fujilloy

- by MATERIAL
- by TECHNOLOGY
- by CO-OPERATION



「JIMTOF2022（第31回日本国際工作機械見本市）」が、2022年11月8日（火）～13日（日）、東京ビッグサイトで開催され、当社も出展いたしました。

今回はコロナ禍を乗り越えて4年ぶりのリアル開催となり、約11万人が来場、当社のブースにもたくさんの方にお越しいただきました。

詳細は特設
ページでご覧
いただけます



出展コンセプト

サステナブル社会の実現に向けた富士ダイスの挑戦

今回の目玉展示

自動車電動化の需要を捉える

持続可能な社会の実現に向けて

共創によるイノベーション

「モーターコア金型用超硬合金」

「省タングステン・コバルト合金」

「高熱膨張・低比重硬質合金」



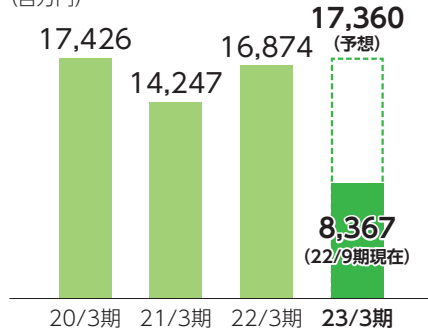
会場の様子



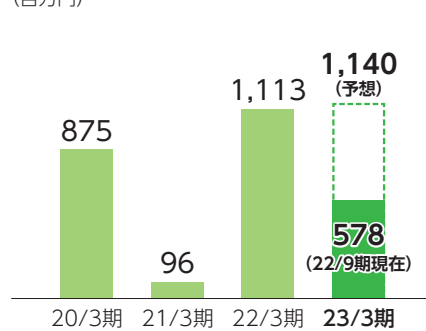
コーポレートデータ

■連結決算データ

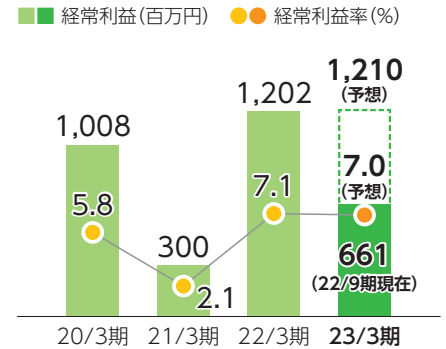
売上高 (百万円)



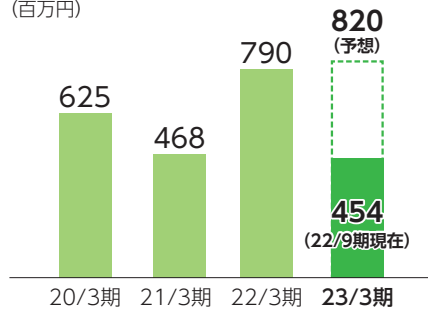
営業利益 (百万円)



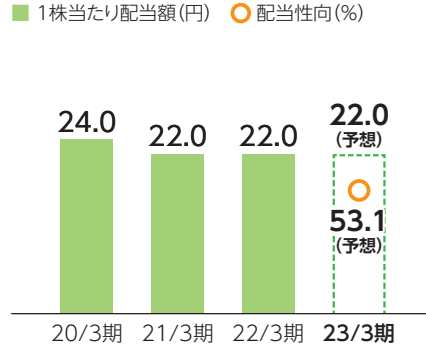
経常利益／経常利益率



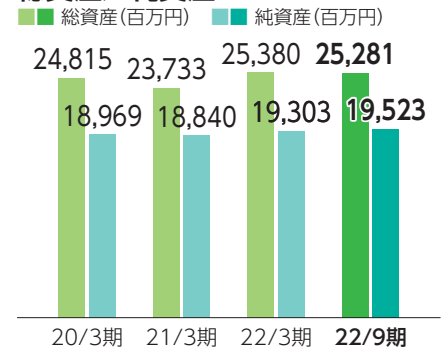
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)



1株当たり配当額／配当性向



総資産／純資産



■会社概要 (2022年3月31日現在)

社 名 富士ダイス株式会社
創 業 1949年6月6日
本社所在地 〒146-0092 東京都大田区下丸子2-17-10
資 本 金 164百万円
拠 点 営業拠点12 生産拠点7
グループ会社 国内2社 海外5社
従 業 員 1,131人(連結)

■役員一覧 (2022年9月30日現在)

代表取締役社長	久保井 恒之	常勤監査役	千葉 理彦
常務取締役	春田 善和	社外監査役	内田 伊知郎
取締役	津田 雅宣	社外監査役	江口 泰志
取締役	篠宮 護		
取締役	馬渡 和幸		
取締役	松岡 恭弘		
社外取締役	本多 實		
社外取締役	澤井 英久		
社外取締役	上田 典由		

■株主メモ

事業年度 毎年4月1日から3月31日まで
定時株主総会 毎事業年度終了後3ヶ月以内
株主確定基準日 毎年3月31日
剰余金の配当基準日 毎年3月31日及び9月30日
株式の売買単位 100株
証券コード 6167
上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
連 絡 先 東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号

公 告 方 法 電子公告により行います。ただし電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。公告掲載URL <https://www.fujidie.co.jp/>

富士ダイス株式会社

〒146-0092 東京都大田区下丸子2-17-10
TEL:03-3759-7182
<https://www.fujidie.co.jp/>



トップページ



投資家情報

